

長 崎 県 観 光 統 計

平成 28 年（1 月～12 月）



長崎県 観光振興課

この統計表の見方

○用語の解説とそれらの相関関係

(A) 観光客延べ数・・・観光の活動量を日単位で表すもので、当該地を訪れた観光客の滞在日数の合計としての入込者数で表される。

<算式で表すと>

$$\text{観光客延べ数} = \text{宿泊客延べ滞在数} + \text{日帰り客数}$$

(B) 宿泊客延べ滞在数・・・次の2つの要素を合計したもので、当該地に来訪した宿泊をとまなう観光客の滞在日数の合計としての入込者数で表される。

<要素>

(1) 宿泊客実数・・・何泊したかを問わず当該地に宿泊した観光客の合計

(2) 延べ宿泊者数・・・当該地の宿泊観光客の延べ宿泊数の合計

<算式で表すと>

$$(3) \text{ 宿泊客延べ滞在数} = \text{宿泊客実数} + \text{延べ宿泊者数}$$

平均宿泊数・・・当該地の宿泊観光客が平均何泊するかを表すもので、必ず1(泊)以上として表される。

<算式で表すと>

$$\text{平均宿泊数} = \text{延べ宿泊数} \div \text{宿泊客実数}$$

(C) 観光客実数 = 日帰り客数 + 宿泊客実数
= 地元客 + 県内客 + 県外客

【具体例】

☆1人が2泊3日した場合

(1) 宿泊客実数・・・1人

(2) 延べ宿泊数・・・2泊

(3) 宿泊客延べ滞在数・・・3人

○調査概要

作成にあたっては、宿泊施設における聞き取りや県内各ブロックの主要観光施設の入込状況、航路・空路の乗降客数等を考慮し、平成28年12月31日現在の観光客数について、各市町が推計したものを県において集計したものである。

※なお、端数処理の関係上、合計と一致しないものがある。

○地域ブロック区分

この統計表における地域ブロック区分は以下のとおりである。

- ① 長崎・西彼：長崎市、長与町、時津町
- ② 佐世保・西海・東彼・北松
：佐世保市、西海市、東彼杵町、川棚町、波佐見町、佐々町
- ③ 平戸・松浦：平戸市、松浦市
- ④ 諫早・大村：諫早市、大村市
- ⑤ 島原半島：島原市、雲仙市、南島原市
- ⑥ 五島：五島市、新上五島町、小値賀町
- ⑦ 壱岐：壱岐市
- ⑧ 対馬：対馬市

○再算定について

本年は、一部の市町において昨年公表数値の訂正や精査、見直しが生じたため、平成27年の公表数値について再算定を行っている。

平成28年長崎県観光統計

長崎県の観光客延べ数（平成28年1～12月）

32,378,575人（対前年比▲2.7%）

平成27年の33,284,100人^{（注）}と比べ、905,525人の減少

- ・日帰り客は5年連続で過去最高を更新したものの、平成28年（2016年）熊本地震（以下、「熊本地震」という。）の影響により宿泊客が大きく減少し、観光客延べ数は5年ぶりに減少となった。

●概況

4月に発生した熊本地震による予約キャンセルや九州方面への旅行控えなどの影響に加え、昨年の「ふるさと割」の実施や、シルバーウィーク（5連休）、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界文化遺産登録などの反動減が見られた。

これらによる宿泊客の減少は大きく、「九州ふっこう割」商品の販売や、「ねんりんピック長崎 2016」の開催及び「長崎デスティネーションキャンペーン」による宿泊客の増加はあったものの、宿泊客延べ滞在数は、昨年から92万人減と大きく落ち込み、1,151万人（対前年比▲7.4%）となった。

一方、日帰り客については、熊本地震の影響などによる減少が見られたものの、クルーズ客船の入港隻数が過去最高を3年連続で更新したことなどから、2,086万人（対前年比+0.1%）と5年連続で過去最高を更新し、宿泊客延べ滞在数と合わせた観光客延べ数は3,238万人（対前年比▲2.7%）となった。

観光客数比較

（単位：人）

	H27	H28	対前年増減	対前年比
観光客延べ数	33,284,100	32,378,575	▲905,525	▲2.7%
日帰り客数	20,847,748	20,864,402	16,654	0.1%
宿泊客延べ滞在数	12,436,352	11,514,173	▲922,179	▲7.4%

（注）一部の市町において昨年公表数値の訂正や精査、見直しがあったことから、平成27年の数値は再算定数値を用いている。以下の表においても同じ。

1. 長崎県の観光動向

(1) 四半期毎の観光動向（※長崎県観光動向調査：宿泊客数の前年比）

【1～3月】（+6.7%）

国の交付金を活用した「ふるさと割」による旅行商品等の販売が2月までだったことにより、1～2月までは好調を維持したものの、3月はその反動減が見られたこと、ランタンフェスティバル（長崎市）がほぼ前年並みの集客となり、長崎市内のみならず周辺地域への波及効果が広がってきていること、対馬への韓国人観光客をベースとしたアジアからの観光客や造船関連ビジネス需要などにより外国人宿泊客が引き続き増加していることなどから、前年同期と比較して+6.7%となった。

【4～6月】（▲21.6%）

4月に発生した熊本地震による予約キャンセルや九州方面への旅行控えなどの影響を受け、前年同期と比較して▲21.6%の大幅減となり、四半期単位では平成26年7～9月期（▲1.0%）以来の減少となった。特に5月は、例年集客の多いゴールデンウィークや修学旅行シーズンなども重なったことから3割近い減少と影響が最も大きかった。

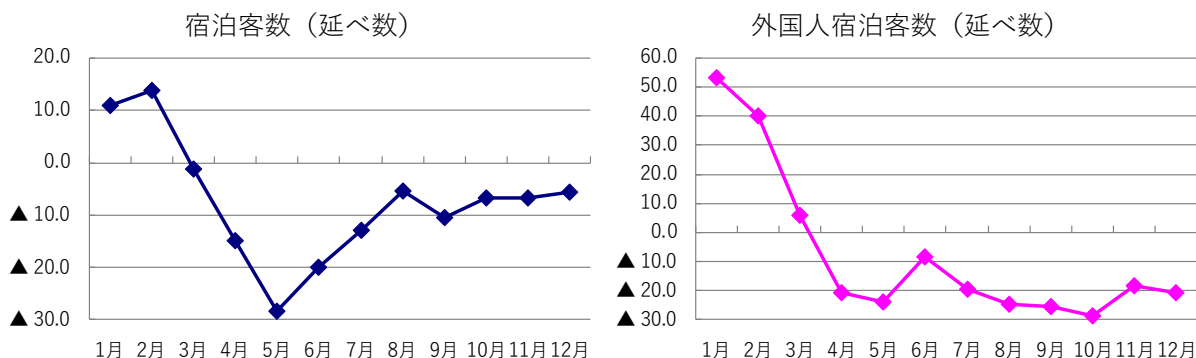
【7～9月】（▲9.2%）

熊本地震の影響が継続し、対前年同期比▲9.2%と2期連続の減少となったものの、「九州ふっこう割」の効果もあり、4～6月期に比べ12ポイント程度持ち直した。九州内を中心としたふっこう割効果で個人客は回復しつつある一方で、昨年7月の世界文化遺産登録による集客効果や日並びが良かった昨年のシルバーウィーク効果（5連休）の反動減や9月の台風来襲や大雨などの天候不順、関東・近畿・東海などの大都市圏からの観光客が回復していないことなどが影響した。ただし、一昨年（平成26年）同期と比較すると約3%程度の増加となっており、昨年同期の大幅増（平成26年同期比+13.0%）の反動減が大きかったものと思われる。

【10～12月】（▲6.4%）

依然として熊本地震による影響が継続しており、「九州ふっこう割」の第2期分の販売やJRグループ6社と共同で実施した「長崎 destination キャンペーン」、「ねんりんピック長崎 2016」の開催などの誘客効果による増加が見られたものの、対前年同期比▲6.4%と3期連続の減となった。九州内からの動きはほぼ持ち直してきており、関東・近畿・東海などの大都市圏からの動きが依然として回復していない状況であるが、7～9月期と比較すると、3ポイント程度改善しており、全体としては回復基調にあるといえる。

長崎県観光動向調査における月別対前年増減率の推移（％）



（2）日帰り、宿泊別観光客の動向

日帰り客数は、熊本地震の影響や、昨年の「明治日本の産業革命遺産」の世界文化遺産登録、シルバーウィークなどの反動減などがあったものの、クルーズ客船の入港数の大幅増や新規施設の開業などにより、対前年比+0.1%（+1.7万人）と5年連続で過去最高を更新した。

宿泊客延べ滞在数は、熊本地震による予約キャンセルや九州方面への旅行控えをはじめ、昨年の「ふるさと割」、シルバーウィークによる反動減などにより、「九州ふっこう割」や「ねんりんピック長崎 2016（以下、「ねんりんピック」という。）」、「長崎デスティネーションキャンペーン（以下、「長崎DC」という。）」の効果があったものの、対前年比▲7.4%（▲92.2万人）と大きく減少した。

日帰り・宿泊別観光客数

（単位：人）

	H27	H28	対前年増減	対前年比
日 帰 り 客 数	20,847,748	20,864,402	16,654	0.1%
宿泊客延べ滞在数	12,436,352	11,514,173	▲ 922,179	▲ 7.4%
延べ宿泊者数	7,039,953	6,535,420	▲ 504,533	▲ 7.2%

(3) 観光客数の推移

平成 24 年は、東日本大震災の震災の影響からの回復に加え、「光と灯り」をテーマにした誘客が奏功したことや、全国和牛能力共進会長崎県大会の開催などにより再び増加に転じた。

平成 25 年は、ハウステンボス入場者数の大幅増加や、世界新三大夜景認定以降、夜型観光が好調であったこと、長崎しおかぜ総文祭や国体のリハーサル大会が開催されたこと、更に外国人観光客が大幅に増加したことなどから、県内全てのブロックで増加が見られた。

平成 26 年は、長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会の競技が県内各地で開催されたことや、世界文化遺産候補となった観光施設への誘客が堅調であったことから観光客の増加が見られた。

平成 27 年は、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録されるなど、世界遺産候補も含めた注目度の高まりをはじめ、長崎市、ハウステンボスが引き続き好調を維持するとともに、ふるさと割の効果などで宿泊客が大幅に増加し、観光客延べ数は 4 年連続の増となった。

平成 28 年は、クルーズ客船の入港が順調に拡大したものの、熊本地震の影響が大きく、九州ふっこう割やねんりんピック、長崎 DC などがあったものの、平成 23 年以来 5 年ぶりに観光客延べ数は減少に転じた。

観光客延べ数の伸び率推移

(単位：%)

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
対前年比	1.7	▲ 1.4	0.9	2.7	▲ 3.7	4.3	5.5	4.8	2.7	▲ 2.7

(4) 地域ブロック別の動向

①長崎・西彼ブロック 692.1 万人、対前年比+0.3% (+2.3 万人)

長崎市：熊本地震の発生による予約キャンセルや修学旅行の方面変更、九州地方への旅行控えに加え、昨年の「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の世界文化遺産登録効果や、シルバーウィーク、造船関連ビジネス需要による外国人宿泊客の増加などの反動減により、「九州ふっこう割」や「ねんりんピック」などによる宿泊客の増加があったものの、宿泊客延べ滞在数は対前年比▲12.6% (▲36.4 万人) と大きく減少した。一方、長崎港へのクルーズ客船の入港が前年比 50.4% 増の 197 隻となり、さらに乗客乗員数が前年比 65.1% 増の約 28.3 万人と、どちらも 3 年連続で過去最高を更新したことなどから、日帰り客は対前年比 +10.3% (+39.4 万人) となった。日帰り客の増加が宿泊客の減少を上回ったことにより、観光客延べ数は対前年比 +0.4% (+3.0 万人) となった。

②佐世保・西海・東彼・北松ブロック 1,033.3 万人、対前年比▲1.5% (▲16.0 万人)

佐世保市：「九州ふっこう割」や「ねんりんピック」、市独自事業の実施などによる宿泊客の増加があったものの、熊本地震の影響により宿泊客延べ滞在数は対前年比▲6.4% (▲23.8 万人) となった。特に、ハウステンボスにおいては、新たに「ロボットの王国」をオープンし、また、新施設やイベントなどを展開したものの、地震の風評被害により団体客や外国人の集客が低調であった。また、クルーズ客船の入港が 64 隻と前年比 77.8% の増となり、道の駅させぼくす 99 の開業などがあったものの、熊本地震の影響で県外の利用者が多い九十九島パールシーリゾートなどの施設は来訪者が減少し、日帰り客数は▲2.4% (▲9.8 万人) となった。これらのことから、観光客延べ数は対前年比▲4.3% (▲33.6 万人) となった。

西海市：ポートホール長崎が開業し、また、バイオパークなどの主要施設の利用者数が増加したことなどから、日帰り客数が大幅に伸び、熊本地震の影響で宿泊客数は減少したものの、観光客延べ数は対前年比 +17.9% (+16.6 万人) と大きく増加した。

波佐見町：熊本地震の影響は陶器まつりなどにあったものの、「長崎 DC」をはじめとする情報発信が功を奏し、観光施設に客足が伸びたことなどから、日帰り客数、宿泊客延べ滞在数ともに増加し、観光客延べ数は対前年比 +3.9% (+3.7 万人) となった。

③平戸・松浦ブロック 262.5 万人、対前年比▲3.8% (▲10.3 万人)

平戸市：熊本地震の影響が大きく、また、昨年シルバーウィークなどの反動減もあったことから、「ねんりんピック」、各種イベントの実施、メディアなどへの露出による誘客効果や、韓国、香港など外国人観光客は増加したものの、宿泊客数が大きく減少し、観光客延べ数は対前年比▲5.4% (▲11.0 万人) となった。

松浦市：熊本地震の影響による修学旅行宿泊者数の減少や、鷹島モンゴル村の休村などに伴う日帰り客の減少があったものの、一部宿泊施設が好調を維持し、「ねんりんピック」などの効果もあったことから、観光客延べ数は対前年比+1.1% (+0.8 万人) となった。

④諫早・大村ブロック 383.0 万人、対前年比▲1.5% (▲5.8 万人)

諫早市：熊本地震の影響や外国人宿泊客の減少に加え、イベントやコスモスの時期の天候不順による日帰り客の減少があったことなどから、「九州ふっこう割」や「ねんりんピック」の効果はあったものの、観光客延べ数は対前年比▲8.4% (▲23.0 万人) となった。

大村市：熊本地震の影響や外国人宿泊客の減少が、「九州ふっこう割」や「ねんりんピック」などの効果よりも大きく、宿泊客は減少したものの、道の駅長崎街道鈴田峠の開業により日帰り客が大幅に増加したため、観光客延べ数は対前年比+15.1% (+17.2 万人) となった。

⑤島原半島ブロック 626.1 万人、対前年比▲9.1% (▲63.0 万人)

島原市：「ねんりんピック」などによる宿泊客の増加があったものの、熊本地震の影響に加え、昨年の島原市独自で実施した「ふるさと旅行券」などの反動減があったことにより、観光客延べ数は対前年比▲14.2% (▲22.6 万人) となった。

雲仙市：熊本地震の影響により、雲仙温泉をはじめとして日帰り客、宿泊客ともに大幅に減少し、また、「ふるさと割」の反動減などがあったことから、「九州ふっこう割」や「ねんりんピック」による宿泊客の増加や、韓国をはじめ東アジア地域への継続的な情報発信の効果による外国人宿泊客の増加があったものの、観光客延べ数は対前年比▲6.6% (▲23.5 万人) となった。

南島原市：熊本地震の影響により、農林漁業体験民泊の利用者やみずなし本陣ふかえの訪問者が大きく減少したほか、6月の大雨による一部宿泊施設の休館などもあったことから、「九州ふっこう割」の効果はあったものの、観光客延べ数は対前年比▲9.9% (▲16.8 万人) となった。

⑥五島ブロック 70.2 万人、対前年比▲4.1% (▲3.0 万人)

五 島 市：民泊体験の取組が奏功し修学旅行客数が大幅に増え、また、「九州ふっこう割」や「ねんりんピック」などの効果はあったものの、熊本地震の影響に加え、昨年の「ふるさと割」の反動減などから、観光客延べ数は対前年比▲4.9% (▲2.0 万人) となった。

新上五島町：熊本地震の影響に加え、しまとく通貨とのタイアップによる旅行商品の販売や世界遺産候補の頭ヶ島天主堂などの来訪者が減少したことなどから、観光客延べ数は対前年比▲4.4% (▲1.2 万人) となった。

⑦壱岐ブロック 54.4 万人、対前年比▲3.1% (▲1.7 万人)

壱 岐 市：昨年の「ふるさと割」の反動減や、しまとく通貨とのタイアップによる旅行商品の販売が減少したことなどから、「九州ふっこう割」などによる宿泊客の増はあったものの、観光客延べ数は対前年比▲3.1% (▲1.7 万人) となった。

⑧対馬ブロック 116.2 万人、対前年比+6.4% (+7.0 万人)

対 馬 市：釜山－比田勝航路の増便や船舶の大型化などもあって、韓国人観光客が引き続き大幅に伸びたことから、日帰り客、宿泊客とも過去最高を更新した結果、観光客延べ数は対前年比+6.4% (+7.0 万人) となった。

地域ブロック別観光客数

(単位：人、泊)

	H28					H27	観光客延べ数		
	日帰り客数	宿泊客 延べ滞在数	延べ 宿泊者数	宿泊客実数	平均 宿泊数	観光客 延べ数	観光客 延べ数	対前年 増減	対前年比
県 計	20,864,402	11,514,173	6,535,420	4,978,753	1.31	32,378,575	33,284,100	▲ 905,525	▲ 2.7%
① 長崎・西彼	4,318,557	2,602,893	1,480,044	1,122,849	1.32	6,921,450	6,898,100	23,350	0.3%
② 佐世保・西海 東彼・北松	6,473,139	3,859,384	2,079,042	1,780,342	1.17	10,332,523	10,492,426	▲ 159,903	▲ 1.5%
③ 平戸・松浦	1,935,471	689,401	416,443	272,958	1.53	2,624,872	2,727,652	▲ 102,780	▲ 3.8%
④ 諫早・大村	2,984,595	845,642	471,165	374,477	1.26	3,830,237	3,888,391	▲ 58,154	▲ 1.5%
⑤ 島原半島	4,531,930	1,728,973	926,776	802,197	1.16	6,260,903	6,890,739	▲ 629,836	▲ 9.1%
⑥ 五 島	226,773	475,520	286,671	188,849	1.52	702,293	732,613	▲ 30,320	▲ 4.1%
⑦ 壱 岐	75,450	468,460	311,259	157,201	1.98	543,910	561,311	▲ 17,401	▲ 3.1%
⑧ 対 馬	318,487	843,900	564,020	279,880	2.02	1,162,387	1,092,868	69,519	6.4%

(5) 外国人観光客（宿泊客）の動向

国においては、ビザの緩和や消費税免税制度の拡充などのこれまでの取組が奏功し、訪日外国人旅行者数が4年連続で過去最高を更新する中、本県においても、個人旅行が高まる中国と、長崎－ソウル線が10月から運航再開し、また、対馬への入込が過去最高を更新した韓国は増加したものの、熊本地震の影響に加え、昨年造船関連ビジネス需要の反動などもあって、台湾やヨーロッパなどからの宿泊客が減少し、宿泊客延べ滞在数は対前年比▲5.5%（▲7.1万人）の122.2万人と5年ぶりに対前年減となった。

なお、クルーズ客船については、長崎港、佐世保港とも過去最高であった昨年をさらに上回り、県全体では入港隻数が前年比51.7%増の273隻となり、乗員乗客数も前年比67.1%増となって80万人を超えた。

国・地域別外国人宿泊客数

(単位：人)

	H27		H28		延べ宿泊者数		宿泊客延べ滞在数	
	延べ 宿泊者数	宿泊客 延べ滞在数	延べ 宿泊者数	宿泊客 延べ滞在数	対前年 増減	対前年 対前年比	対前年 増減	対前年 対前年比
アジア	561,900	1,011,021	545,626	969,703	▲16,274	▲2.9%	▲41,318	▲4.1%
中国	59,663	100,581	64,956	108,774	5,293	8.9%	8,193	8.1%
台湾	162,221	295,256	123,454	220,402	▲38,767	▲23.9%	▲74,854	▲25.4%
香港	31,859	59,260	31,251	55,305	▲608	▲1.9%	▲3,955	▲6.7%
韓国	263,330	479,892	285,972	518,103	22,642	8.6%	38,211	8.0%
シンガポール	11,769	19,737	8,572	14,191	▲3,197	▲27.2%	▲5,546	▲28.1%
タイ	16,783	29,183	12,507	21,778	▲4,276	▲25.5%	▲7,405	▲25.4%
その他	16,275	27,112	18,914	31,150	2,639	16.2%	4,038	14.9%
ヨーロッパ	94,665	150,694	69,868	107,811	▲24,797	▲26.2%	▲42,883	▲28.5%
イギリス	5,267	8,597	5,934	9,537	667	12.7%	940	10.9%
フランス	3,554	5,825	5,042	8,153	1,488	41.9%	2,328	40.0%
その他	85,844	136,272	58,892	90,121	▲26,952	▲31.4%	▲46,151	▲33.9%
北アメリカ	46,528	67,429	61,052	88,651	14,524	31.2%	21,222	31.5%
アメリカ	43,165	61,965	57,410	82,723	14,245	33.0%	20,758	33.5%
カナダ	2,656	4,329	3,014	4,916	358	13.5%	587	13.6%
その他	707	1,135	628	1,012	▲79	▲11.2%	▲123	▲10.8%
南アメリカ	1,565	2,536	1,270	2,071	▲295	▲18.8%	▲465	▲18.3%
オセアニア	6,106	9,879	7,647	12,324	1,541	25.2%	2,445	24.7%
オーストラリア	5,003	8,083	6,270	10,101	1,267	25.3%	2,018	25.0%
その他	1,103	1,796	1,377	2,223	274	24.8%	427	23.8%
その他の国・地域	892	1,462	2,202	3,683	1,310	146.9%	2,221	151.9%
国籍不明	33,022	50,070	24,194	37,504	▲8,828	▲26.7%	▲12,566	▲25.1%
合計	744,678	1,293,091	711,859	1,221,747	▲32,819	▲4.4%	▲71,344	▲5.5%

《参考》クルーズ客船入港実績推移

(単位：隻、人)

	H24	H25	H26	H27	H28
入港隻数	78	48	92	180	273
外航	73	39	82	164	254
内航	5	9	10	16	19
乗客乗員数	123,244	84,045	220,837	500,866	837,096
外航	120,731	78,187	214,852	490,375	822,873
内航	2,513	5,858	5,985	10,491	14,223

(6) 修学旅行宿泊者数の動向

平成28年の修学旅行宿泊者数は、熊本地震が修学旅行シーズンと重なったこともあり、体験民泊の充実や誘致活動が実を結んだ五島市と2市町を除き、方面変更により大幅に減少し、対前年比▲11.3% (▲5.1万人) の40.2万人となり、過去10年で最も大きい減少となった。

修学旅行宿泊者数

(単位：人)

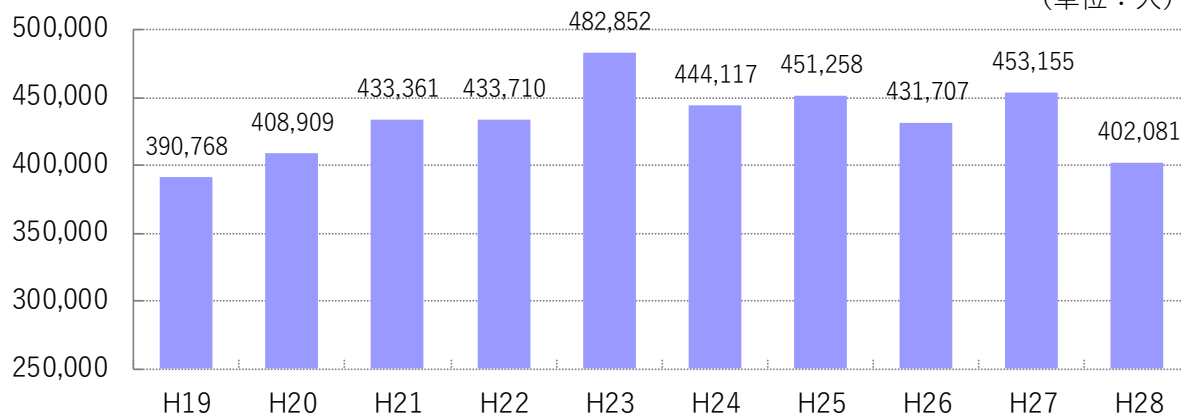
	H26	H27	H28	対前年増減	対前年比	構成比
県計	431,707	453,155	402,081	▲ 51,074	▲ 11.3%	100.0%
長崎市	285,200	297,300	274,600	▲ 22,700	▲ 7.6%	68.3%
佐世保市	59,084	62,703	66,217	3,514	5.6%	16.5%
西海市	0	238	40	▲ 198	▲ 83.2%	0.0%
川棚町	2,447	2,730	2,733	3	0.1%	0.7%
平戸市	12,158	12,875	9,288	▲ 3,587	▲ 27.9%	2.3%
松浦市	18,732	16,773	10,671	▲ 6,102	▲ 36.4%	2.7%
諫早市	3,628	3,037	1,227	▲ 1,810	▲ 59.6%	0.3%
大村市	617	1,598	949	▲ 649	▲ 40.6%	0.2%
島原市	5,084	7,045	4,953	▲ 2,092	▲ 29.7%	1.2%
雲仙市	25,975	27,280	14,701	▲ 12,579	▲ 46.1%	3.7%
南島原市	9,947	10,679	6,060	▲ 4,619	▲ 43.3%	1.5%
五島市	974	1,936	4,253	2,317	119.7%	1.1%
小値賀町	1,612	2,326	1,303	▲ 1,023	▲ 44.0%	0.3%
壱岐市	5,953	6,455	4,939	▲ 1,516	▲ 23.5%	1.2%
対馬市	296	180	147	▲ 33	▲ 18.3%	0.0%

(注1) 市町調査(聞き取り)による数値(実績がある市町のみ掲載)。

(注2) 長崎市については、市発表の団体客数(学生客)の数値であるため、日帰り客を含む。

修学旅行宿泊者数の推移 (H19~H28)

(単位：人)



2. 長崎県の観光消費額の動向

平成 28 年の観光消費額

観光消費額 3,689 億円（対前年比▲3.9%）

※平成 28 年 1 月から 12 月まで

○一人一日当たりの平均消費額

【日帰り客】 8,170円（対前年比+0.1%）

【宿泊客】 24,456円（対前年比▲0.4%）

平成 28 年の観光消費額は、平均単価は伸びたものの観光客延べ数が減少したことにより、3,689 億円（対前年比▲3.9%）と平成 23 年以来 5 年ぶりに減少となった。

日帰り客、宿泊客別に見ると、日帰り客は 1,705 億円（対前年+0.2%）と増加したが、宿泊客は 1,984 億円（対前年比▲7.2%）と大幅な減少となった。

また、平均単価を見ると、日帰り客は 8,170 円（対前年比+0.1%）、宿泊客は 24,456 円（対前年比▲0.4%）であった。

観光消費額

（単位：百万円）

	H27	H28	対前年増減	対前年比
観光消費額	383,900	368,905	▲ 14,995	▲ 3.9%
日帰り客	170,068	170,472	404	0.2%
宿泊客	213,833	198,434	▲ 15,399	▲ 7.2%
平均単価 <一人一日あたりの平均消費額> （単位：円）				
日帰り客	8,158	8,170	12	0.1%
宿泊客	24,565	24,456	▲ 109	▲ 0.4%

観光消費額の伸び率推移

（単位：%）

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
対前年比	2.3	▲ 1.5	▲ 6.9	2.6	▲ 1.3	6.6	13.1	4.4	12.3	▲ 3.9

(参考) 平成28年市町別観光客数

(単位:人、%)

市町	区分	観光客延べ数									観光客実数					
		日帰り客数	宿泊客延べ滞在数	延べ宿泊者数	宿泊客実数	平均宿泊数	観光客延べ数	27年延べ数※	前年比	増	減	地元客	県内客	県外客	観光客実数	27年実数※
県	計	20,864,402	11,514,173	6,535,420	4,978,753	1.31	32,378,575	33,284,100	▲ 2.7	▲ 905,525	4,634,351	6,683,600	14,525,204	25,843,155	26,244,147	▲ 1.5
①	長崎・西彼	4,318,557	2,602,893	1,480,044	1,122,849	1.32	6,921,450	6,898,100	0.3	23,350	390,879	400,906	4,649,621	5,441,406	5,187,059	4.9
②	佐世保・西海・東彼・北松	6,473,139	3,859,384	2,079,042	1,780,342	1.17	10,332,523	10,492,426	▲ 1.5	▲ 159,903	1,971,389	1,795,402	4,486,690	8,253,481	8,305,639	▲ 0.6
③	平戸・松浦	1,935,471	689,401	416,443	272,958	1.53	2,624,872	2,727,652	▲ 3.8	▲ 102,780	169,597	784,933	1,253,899	2,208,429	2,276,001	▲ 3.0
④	諫早・大村	2,984,595	845,642	471,165	374,477	1.26	3,830,237	3,888,391	▲ 1.5	▲ 58,154	1,359,988	1,560,230	438,854	3,359,072	3,359,743	▲ 0.0
⑤	島原半島	4,531,930	1,728,973	926,776	802,197	1.16	6,260,903	6,890,739	▲ 9.1	▲ 629,836	597,187	1,956,752	2,780,188	5,334,127	5,854,704	▲ 8.9
⑥	五島	226,773	475,520	286,671	188,849	1.52	702,293	732,613	▲ 4.1	▲ 30,320	74,311	125,488	215,823	415,622	429,277	▲ 3.2
⑦	杵岐	75,450	468,460	311,259	157,201	1.98	543,910	561,311	▲ 3.1	▲ 17,401	26,119	12,251	194,281	232,651	248,359	▲ 6.3
⑧	対馬	318,487	843,900	564,020	279,880	2.02	1,162,387	1,092,868	6.4	69,519	44,881	47,638	505,848	598,367	583,365	2.6
①	長崎市	4,207,800	2,515,700	1,426,652	1,089,048	1.31	6,723,500	6,693,800	0.4	29,700	323,187	360,181	4,613,480	5,296,848	5,039,447	5.1
	長与町	43,501	0	0	0	-	43,501	46,511	▲ 6.5	▲ 3,010	19,318	10,197	13,986	43,501	46,511	▲ 6.5
	時津町	67,256	87,193	53,392	33,801	1.58	154,449	157,789	▲ 2.1	▲ 3,340	48,374	30,528	22,155	101,057	101,101	▲ 0.0
②	佐世保市	4,070,488	3,481,063	1,845,963	1,635,100	1.13	7,551,551	7,887,496	▲ 4.3	▲ 335,945	1,611,777	790,275	3,303,536	5,705,588	5,919,518	▲ 3.6
	西海市	1,008,575	86,712	51,611	35,101	1.47	1,095,287	928,881	17.9	166,406	88,508	343,097	612,071	1,043,676	872,957	19.6
	東彼杵町	49,941	3,288	1,644	1,644	1.00	53,229	52,308	1.8	921	4,127	37,657	9,801	51,585	50,559	2.0
	川棚町	308,448	209,239	140,283	68,956	2.03	517,687	526,770	▲ 1.7	▲ 9,083	41,137	217,762	118,505	377,404	394,302	▲ 4.3
	波佐見町	894,209	79,082	39,541	39,541	1.00	973,291	936,463	3.9	36,828	155,101	342,946	435,703	933,750	907,795	2.9
	佐々町	141,478	0	0	0	-	141,478	160,508	▲ 11.9	▲ 19,030	70,739	63,665	7,074	141,478	160,508	▲ 11.9
③	平戸市	1,389,517	529,594	317,757	211,837	1.50	1,919,111	2,029,503	▲ 5.4	▲ 110,392	64,085	658,613	878,656	1,601,354	1,657,211	▲ 3.4
	松浦市	545,954	159,807	98,686	61,121	1.61	705,761	698,149	1.1	7,612	105,512	126,320	375,243	607,075	618,790	▲ 1.9
④	諫早市	1,886,345	632,198	358,589	273,609	1.31	2,518,543	2,748,938	▲ 8.4	▲ 230,395	700,473	1,224,477	235,004	2,159,954	2,336,348	▲ 7.5
	大村市	1,098,250	213,444	112,576	100,868	1.12	1,311,694	1,139,453	15.1	172,241	659,515	335,753	203,850	1,199,118	1,023,395	17.2
⑤	島原市	1,054,080	314,078	202,307	111,771	1.81	1,368,158	1,594,575	▲ 14.2	▲ 226,417	54,864	203,509	907,478	1,165,851	1,385,714	▲ 15.9
	雲仙市	2,301,387	1,057,759	542,279	515,480	1.05	3,359,146	3,594,621	▲ 6.6	▲ 235,475	224,409	1,227,216	1,365,242	2,816,867	2,968,757	▲ 5.1
	南島原市	1,176,463	357,136	182,190	174,946	1.04	1,533,599	1,701,543	▲ 9.9	▲ 167,944	317,914	526,027	507,468	1,351,409	1,500,233	▲ 9.9
⑥	五島市	146,150	246,352	145,730	100,622	1.45	392,502	412,927	▲ 4.9	▲ 20,425	40,217	71,699	134,856	246,772	253,131	▲ 2.5
	新上五島町	76,007	185,515	115,689	69,826	1.66	261,522	273,545	▲ 4.4	▲ 12,023	32,291	45,303	68,239	145,833	153,908	▲ 5.2
	小値賀町	4,616	43,653	25,252	18,401	1.37	48,269	46,141	4.6	2,128	1,803	8,486	12,728	23,017	22,238	3.5
⑦	杵岐市	75,450	468,460	311,259	157,201	1.98	543,910	561,311	▲ 3.1	▲ 17,401	26,119	12,251	194,281	232,651	248,359	▲ 6.3
⑧	対馬市	318,487	843,900	564,020	279,880	2.02	1,162,387	1,092,868	6.4	69,519	44,881	47,638	505,848	598,367	583,365	2.6

※「27年延べ数」及び「27年実数」は、東彼杵町及び杵岐市の再算定後の数値である。